

きこえとことばの教室では、このような指導をしています!!

“きこえとことばの教室（こだま学級）”には、聞こえにくさのある子、吃音がある子、発音の誤りがある子、ことばの面において心配がある子、などさまざまなお子さんが通ってきています。学習形態は、週に1～2時間の個別指導です。その他に、必要に応じてグループ学習も行っています。

発音の誤りがあるお子さん

(例) おかあさん→おたあたん さかな→しゃかな
 発音の誤りは、本人が正しく発音したくてもできない状態です。
 舌や口の周辺の筋肉の動きを高める運動をしたり、正しい発音の仕方を練習したりします。

吃音があるお子さん

(例) 「お、お、おっ、おかあさん…」 「お——おかあさん」
 吃音は、本人の意思とは関係なくその症状が現れます。話すことへの不安を取り除き、安心して話すことのできる環境を作ります。また、吃音についての正しい理解や、話し方の工夫なども行います。

聞こえにくさがあるお子さん

話を聴いたり、ことばで伝えたりする意欲を育て、本人の聴力の確かめや正しく聞き取る練習、状態に応じて発音練習やことばの力を伸ばす学習を行っています。また、在籍学級での環境調整なども行います。

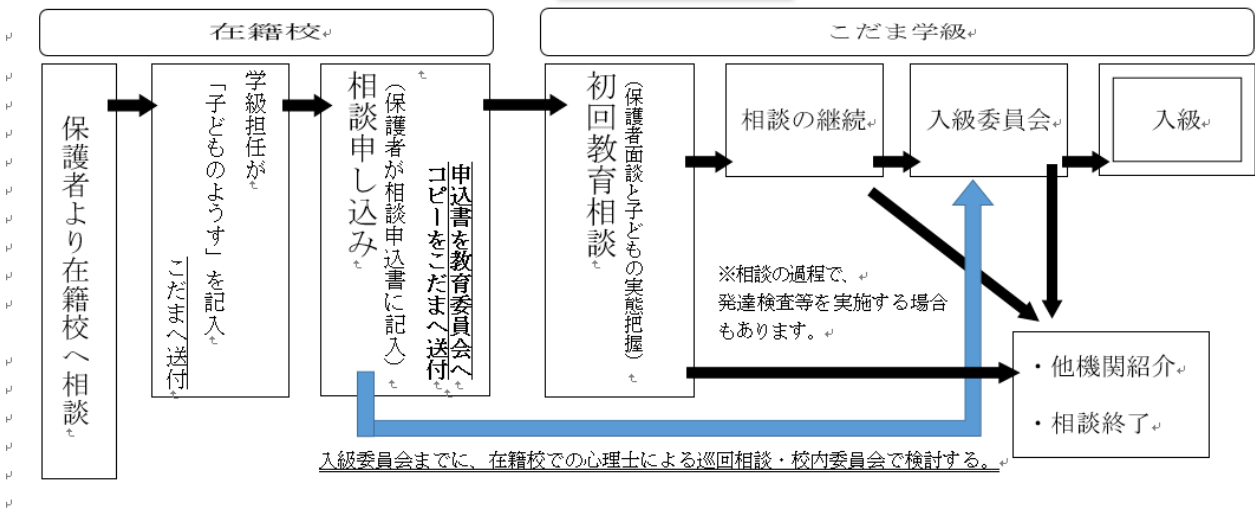
ことばの面で心配があるお子さん

自分の思っていることをうまく伝えられない、ことばの数が少ない、話を理解することが苦手、などお子さんによって困っていることは様々です。ことばの力の得意・不得意を確かめ、やりとりする力や話す力を伸ばしていきます。



どのお子さんにとっても、リラックスして楽しくお話できるような、安心した環境を作っていくことを大切にしています。

相談の流れ



「きこえとことばの教室（こだま学級）」では、上記の流れで、随時、教育相談を実施しています。また、発音の誤り、吃音、聞こえにくさに心配のある年長のお子さんの次年度に向けての相談も受け付けております。年長のお子さんについては、直接こだま学級にご連絡ください。